2026 年 11 月 24 日

デリカフーズホールディングス株式会社

# ＂野菜の総合ソリューション企業＂への進化に向けて デリカフーズグループが「サプライ事業」を始動

デリカフーズホールディングス株式会社（東京都足立区、代表取締役社長：大﨑 善保）は、将来の持続的な成長に向けた新規事業として、当社グループの現ビジネスモデルを活用して青果物以外の商品（資材など）の販売を行う「サプライ事業」への取り組みを本格的に開始しました。

具体的には、2026 年 11 月に、青果物加工流通事業を担う子会社のデリカフーズ株式会社（東京都足立区、代表取締役社長：小林 憲司）内に事業を所管するサプライ事業部を新たに設立するとともに、物流子会社のエフエスロジスティックス株式会社（東京都足立区、代表取締役社長：吉川 直樹）の新設拠点である三郷サプライセンター（以下、「三郷 SC」）で加工食品や店舗資材などの出荷業務を開始しました。

**◆サプライ事業の前線基地「三郷サプライセンター」**



## サプライ事業部の設立について

**■ 設立の趣旨**

デリカフーズは、より付加価値の高い商品を提供する観点から、2024 年 4 月に食品事業部を設立し、青果物（ホール野菜、カット野菜等）以外の加工食品の取扱いを開始しています。

今般、お客様の更なる利便性向上を図るため、食品事業部の体制を見直し、青果物以外の商材（青果物以外の食材および各種資材）を取り扱う部署として「サプライ事業部」を新設しました。サプライ事業部は、旧・食品事業部メンバーを中心とする加工食品チームに加え、資材ビジネスを担当するマテリアルチーム、両者を支える業務課、品質管理室の 4 部署から構成されています。

■サプライ事業の概要

これまでデリカフーズグループは、全国の主要都市への拠点展開と自社物流機能の強化を進め、日本全国約３万店舗へ青果物をお届けできるコールドチェーンの配送ネットワークを構築してきました。このネットワークは、生産者とお客様をつなぎ、品質を守り、食品ロスを削減し、安定供給を支える当社独自のインフラ機能です。このインフラ機能を最大限活用し、新たな領域へ事業を広げることがサプライ事業の最大の狙いです。

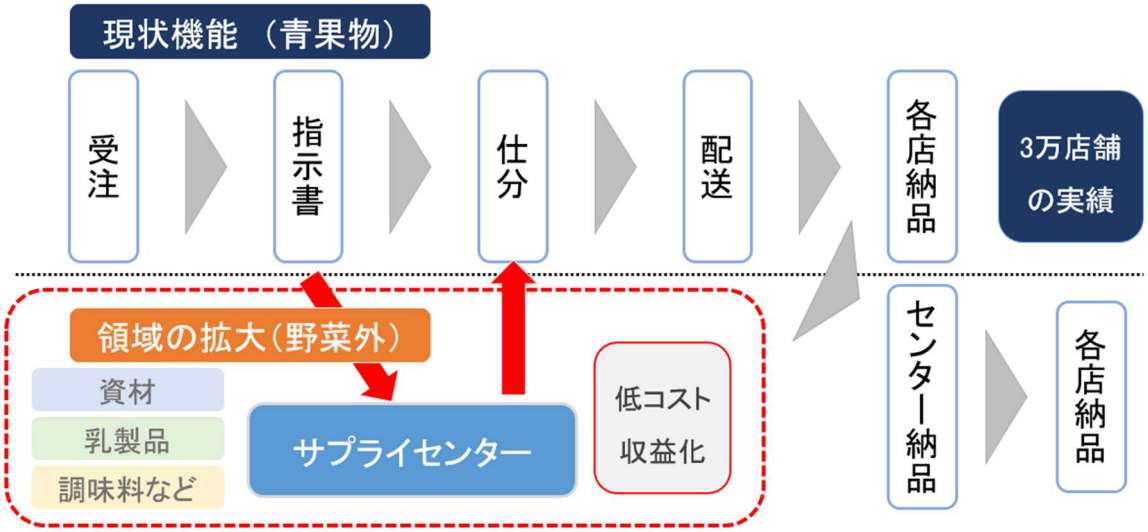
具体的な事業内容は以下のとおりです。

１．青果物以外の食材や資材の同梱販売

現在青果物をお届けしている外食産業の店舗に、使用頻度の高い各種資材（おしぼり、わりばし、クッキングペーパーなど）もセットで運び、納入します。

お客様から注文を受けつけ、配送先ごとに商品を仕分けて店舗までお届けする仕組みは既に構築済みなので、当社としては大きな追加コストを発生させることなく、取扱商品の幅を広げることが可能です。

◆同梱販売のイメージ




２．工場用資材の共同調達

外食産業のセントラルキッチンをはじめとする食品製造工場用資材の共同調達にも取り組みます。ゴム手袋（ニトリル手袋）、マスク、ギャザーキャップ、洗剤など、当社でも使用量の大きい資材を中心に、海外メーカーを含めた調達網を新規に構築し、納入先との共同調達ルートを確立することを計画しています。この取り組みを通じ、当社グループ自体のコスト抑制につながる効果も期待されます。

３．生産者への資材の販売

現在、スタートアップ企業のネッスー株式会社（東京都世田谷区、代表取締役社長：木戸優起）との協働により、当社の製造現場や配送センターで発生する使用済み段ボール箱からリサイクルした安価な再生段ボール箱を生産者に販売するスキームの検討を進めています。将来的には、段ボール以外にも農業資材を幅広く生産者へ販売する仕組みを構築することを目指します。

## 三郷 SC の開設

■ 三郷 SC 開設の背景

近年、物流を取り巻く環境が急速に大きく変化しています。いわゆる「2024 年問題」に加え、2026 年施行の改正物流関連法により、物流の効率化と適正化が荷主企業にも求められる時代となりました。

こうした事業環境の変化を踏まえ、「成長エンジンとしての物流事業の拡充」を図るとともに、物流を切り口とした「食の総合ソリューション提供」の実現を目指すための拠点として、三郷 SC を開設しました。

＜三郷 SC　概要＞

名称　　：エフエスロジスティックス株式会社 三郷サプライセンター

所在地　：埼玉県三郷市インター南３―2－１ DPL 三郷Ⅲ 1F

賃借面積：2,000 坪（賃貸物件）

〔内訳〕冷蔵面積：約 1,270 坪、冷凍面積：約 270 坪、常温面積：460 坪（うち事務所 約 20 坪）

投資額　：約２億円(改修費用等)

三郷 SC では 300 坪の常温スペースで数百アイテムの資材を保管し、お客様からの注文に応じて店別仕分けを行った状態で担当の事業所へ商品を移動します。事業所で青果物とセットしたうえで、各店舗に配送するフローとなります。当初は三郷 SC のみが配送拠点となりますが、将来的には、東海マザーセンター（2026 年 4 月開設、愛知県弥富市）の増床により保管・配送キャパシティの拡大を図ることも検討します。

■ 三郷 SC のその他機能について

１．３PL（サードパーティ・ロジスティクス）事業の展開

自社荷物のみならず、グループ外の商品保管や配送を請け負う TC（通過型物流）センターとして外販を拡大し、物流事業を新たな収益の柱へと成長させます。

２．外販拡大とローコストオペレーション

関東圏におけるグループ外取引拡大に資する戦略拠点として機能させるとともに、外部倉庫集約等により保管・移動費用の削減を図ります。

３．グループ全体物流網最適化

将来的には、グループの中核事業会社として青果物加工流通業を担うデリカフーズの仕分・出荷機能の統合・再編によるグループ全体物流網の最適化も検討します。

## 今後目指していく姿

当社グループが目指すのは、物流を核としたグループの経営資源を最大限に活用することで、お客様に提供する価値創造の領域を広げることです。

具体的には、業界内のリーディングカンパニーとしての地位を確立した青果物流通で培った調達力。加工力、品質管理力、物流ネットワークを活かし、お客様が必要とする商品やサービスをワンストップで提供することにより、お客様の調達を総合的に支える新しい食の総合サプライチェーンの実現に取り組みます。

## デリカフーズホールディングス株式会社

代 表 者：大﨑 善保
所 在 地：東京都足立区六町 4-12-12
創　　業：1979 年 10 月
資 本 金：17 億 7,236 万円
ＵＲＬ：https://www.delica.co.jp/
事業内容：青果物流通で日本の農業と健康をつなぐ企業。青果物の加工販売事業を中心に、物流事業・研究開発・
　　コンサルティング事業など青果物ビジネスを全国展開。

## デリカフーズ株式会社

代 表 者：小林 憲司
所 在 地：東京都足立区六町 4-12-12
創　　業：1984 年 12 月
資 本 金：9,600 万円
ＵＲＬ：https://www.delica.co.jp/

## エフエスロジスティックス株式会社

代 表 者：吉川 直樹
所 在 地：東京都足立区六町 4-12-12
創　　立：2014 年 10 月
資 本 金：8,200 万円
ＵＲＬ：https://www.fs-logi.com/company

＜本件に関するお問い合わせ＞
■デリカフーズホールディングス株式会社　広報 IR 室：桑原
　TEL：03-3858-1037（代）　E-mail：pr-and-ir@delica.co.jp